



おひさまだより

2019年7月号

社会福祉法人 尚徳福祉会

生麦保育園 園長 田淵弘子



梅雨のじめじめと夏の日差しと…気温も上昇！水分補給や風通し、冷房を上手に使い、体調を崩さないように気を配りたいと思います。汗をかき、洋服を取り替えることが増えますので、着替えの準備をお願いします。

幼児クラスの育てたオクラやきゅうりが、給食のメニューに入ることがありました。自分たちで育てたという体験は、お互いの信頼感を高め子どもたちの心と心をそっと結んだようです。



7月の行事

1日（月）プール開き	
3日（水）高砂会交流	
10日（水）お話し会	
11日（木）英語であそぼう	
23日（火）避難訓練	
25日（木）英語であそぼう	
29日（月）乳児誕生会	
30日（火）幼児誕生会	

※7月11日、18日は地域のお友だち（未就学児）のためにプール開放をします。

ご近所でお知り合いの方がおられましたら、教えてあげてくださいね。





ひよこぐみ

保護者の方の理解を得て、足に絵具を付けてスタンピング。足型を織姫、彦星に見立てた、七夕飾りを作りました。小さくてかわいらしい作品のできあがり！家に持ち帰りますので、楽しみにしてください。

少しずつ園にも慣れ、笑顔いっぱい。保護者の方も子どもたちと同様に、慣れた様子に安心しています。



あひるぐみ

何回か園庭に降りて、お砂場遊びをしました。おしりをつけて遊びだす子、なかなか砂場に入れない子と、さまざまでしたがいつものテラスとは違う雰囲気を楽しんでいました。

小さいながらもやってみようとする気持ちが増し、転んだりぶつかけたりのががこれから多くなると思います。安全には十分に気を配っていきます。



りすぐみ

どろんこ遊び…最初は、少しずつの参加でしたが、先生たちに触発されて、気がつく先生たちよりすごい泥んこ遊びに展開していました。保育園でしか味わえないどろんこ遊びを思い切り楽しみ、遊んだあとのシャワーできれいさっぱりしています。たくさん体を動かすせいか、寝付くのがとても早いです。



うさぎぐみ

お兄さんお姉さんが上まで登れるのぼり棒に、裸足になり少しでも上へとチャレンジしているかと思えば、男の子、女の子一緒になり、仲良く砂場でレストランごっこ…園庭ではダンゴ虫を見つけては、指先で転がしてだんごのように丸くなる姿を不思議そうに見ていました。毎日メリハリのある遊びを楽しんでいます。



きりんぐみ

夏野菜の収穫！取れたてのきゅうりのにおいをかいだりトゲトゲに気付いたり、新しい発見に目を輝かせています。オクラが苦手な子も、自分たちで育てたオクラを食べることができました。先日はきゅうりにお味噌を付け、オツな食べ方をしていました。園長先生！見て！と収穫野菜を得意気に見せにきてくれます。



ぞうぐみ

あじさい時計や七夕飾りの製作、保育士の話を聞き活動に取り組んでいました。わからないところは「こう？」「どうするの？」と質問し、周りのお友だちに教えてもらったり、わからない子のお手伝いをしたり、一人一人が自分のことだけでなく、相手を気遣うようになってきています。わからないこと、できないことも自分で聞けるようにもなりました。友だちと共に育っていく姿を多く見ることができます。



☆春の園外保育☆

梅雨の合間をぬって、幼児クラスのお友だちは貝ノ浜公園に遊びにいきました。水筒を持っていくことがいつもの散歩とは違って、子どもたちにはとても嬉しかったようです。公園ではにこにこまんて（縦割りの活動）ゲームをしたり、踊ったり、ふれあいを楽しみました。暑かったこともあり、何度も水飲みタイムを作りましたが、そのたびに自分の水筒からおいしそうに飲んでいました。給食は園庭の木陰でシートを敷いて、給食さんが作ってくれたおにぎりをおいしそうにほおばりました。おかわりの準備もたくさんあったので、おなか一杯になった子どもたち…この日はたっぷりお昼寝をしました。

